

平成30年度羽曳野市事務事業評価シート(平成29年度実施事業)

				コード	631-03-01	
事務事業名		世界文化遺産登録推進連絡会議事務事業		事務の種類	自治事務（任意のもの）	
				連絡先	内線4402	
担当部署名		市長公室 世界文化遺産推進室		会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち	款	2	総務費
	施策	3	歴史・文化	項	1	総務管理費
	施策の方向	1	歴史資産を活かしたまちづくり	目	5	企画費
対象（誰を・何を）		①羽曳野市民・藤井寺市民 ②国内外からの来訪者				
目的（どうしたいか）		①古市古墳群の認知度向上及び地元の更なる機運醸成②来訪者の効率的・効果的な受入体制の整備など				
手段（事業内容）		古市古墳群のPRを行い、地元の更なる機運醸成を図っている。また、スムーズに国内外からの来訪者を受け入れるため、関係機関との協議や調整を図る。				

事業費

単位：千円	28年度決算	29年度決算	30年度当初予算
事業費	345	349	500
人件費	4,429	3,703	3,779
総事業費	4,774	4,052	4,279
うち市負担分	4,774	4,052	4,279

29年度決算主な内訳
【事業費】 古市古墳群リーフレットの増刷 175千円 窓口英会話教室事業 50千円
※なお、上記の事業費は連絡会議における総事業費であり、本市の負担割合は1/2である。 【特定財源】

活動指標

指標名	同会議開催回数	単位	回
指標の説明	来訪者対策や地元企業や市民に対する案件などが積み重なり会議の案件や開催数が増える。		
指標データ	28年度実績	29年度実績	30年度目標(見込)
	1	3	5

参考数値
もずふる応援隊個人隊員数（累積） 平成28年度実績 1209名 平成29年度実績 1789名 平成30年度見込 2100名

成果指標

指標名	もずふる応援隊の団体隊員数（羽曳野市受付分）	単位	団体
指標の説明	藤井寺市、羽曳野市内で活動する団体が発起人となり、世界文化遺産登録に向けた地元の機運醸成を図るため、設立された「もずふる応援隊」の団体隊員数（累積）		
指標データ	28年度実績	29年度実績	30年度目標(見込)
	122	162	200

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きい。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

☒ 拡充・重点化 ☐ 現状維持 ☐ 改善して継続 ☐ 縮小・統合 ☐ 完了 ☐ 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容
羽曳野市・藤井寺市にまたがる古市古墳群は、堺市にある百舌鳥古墳群とともに、平成31年の世界文化遺産登録をめざしている。 地元でのPRイベントの開催をはじめ、もずふる応援隊に加入している企業・団体によるグッズ販売などの取組みを通じ、地元の機運醸成は図れていると考える。 今後も、もずふる応援隊との連携を図りながら、更なる機運醸成を図りたい。 また、来訪者対策については、平成31年度の世界文化遺産登録にむけ、駐車場や駐輪場などのハード整備などの必要性の検討など、2市で連携して取り組んでいく必要があることから、拡充・重点化すべきと考える。

平成30年度羽曳野市事務事業評価シート(平成29年度実施事業)

				コード	631-03-02	
事務事業名		世界文化遺産登録推進本部会議事務事業		事務の種類		自治事務（任意のもの）
				連絡先		内線4402
担当部署名		市長公室 世界文化遺産推進室		予算科目	会計	1 一般会計
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち		款	2 総務費
	施策	3	歴史・文化		項	1 総務管理費
	施策の方向	1	歴史資産を活かしたまちづくり		目	5 企画費
対象（誰を・何を）		百舌鳥・古市古墳群				
目的（どうしたいか）		百舌鳥・古市古墳群を世界文化遺産に登録する				
手段（事業内容）		・大阪府、堺市、藤井寺市と羽曳野市の4者にて、ユネスコへ提出する推薦書・包括的保存管理計画の作成。 ・国内外での機運醸成活動の実施				

事業費

単位：千円	28年度決算	29年度決算	30年度当初予算
事業費	5,451	5,492	7,307
人件費	3,691	3,703	16,628
総事業費	9,142	9,195	23,935
うち市負担分	9,142	9,195	23,935

29年度決算主な内訳
【事業費】 推薦書及び包括的保存管理計画作成費 16,384千円 首都圏PRに係る費用 7,151千円 ※なお、上記の事業費は本部会議における総事業費であり、本市の負担割合は1/8である。 【特定財源】

活動指標

指標名	同会議の開催回数	単位	回
指標の説明	本部会議及び幹事会を実施した件数		
指標データ	28年度実績	29年度実績	30年度目標(見込)
	12	13	15

成果指標

指標名	ウェブサイトアクセス数（セッション数）	単位	回
指標の説明	本部会議において作成しているウェブサイトのアクセス数		
指標データ	28年度実績	29年度実績	30年度目標(見込)
	57,435	100,846	150,000

参考数値

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

☒ 拡充・重点化	☐ 現状維持	☐ 改善して継続	☐ 縮小・統合	☐ 完了	☐ 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容					
百舌鳥・古市古墳群については、平成29年7月31日に国内候補に選定されたことを受け、平成31年の世界文化遺産登録をめざしている。 今後は、本年9月頃のイコモスの現地調査を経て、来年度世界文化遺産への登録となる。 本事業については、平成31年の世界文化遺産登録に向け、資産の保全策や来訪者対策の検討など今後更に四者での連携を図りながら進める必要があることから、拡充・重点化すべきと考える。					

平成30年度羽曳野市事務事業評価シート(平成29年度実施事業)

				コード	631-04-01	
事務事業名		周知啓発活動事業		事務の種類		自治事務（任意のもの）
				連絡先		内線4402
担当部署名		市長公室 世界文化遺産推進室		予算科目	会計	1 一般会計
総合基本計画	施策目標		6 歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち		款	2 総務費
	施策		3 歴史・文化		項	1 総務管理費
	施策の方向		1 歴史資産を活かしたまちづくり		目	5 企画費
対象（誰を・何を）		市民ほか				
目的（どうしたいか）		市民への百舌鳥・古市古墳群の認知度向上及び更なる地元の機運醸成				
手段（事業内容）		イベントでのPRをはじめ、古市古墳群などの映像を活用しながら更なる認知度向上及び地元の機運醸成をはかる。				

事業費

単位：千円	28年度決算	29年度決算	30年度当初予算
事業費	18,500	2,827	7,166
人件費	9,597	8,147	6,802
総事業費	28,097	10,974	13,968
うち市負担分	13,004	10,974	12,034

29年度決算主な内訳	
【事業費】	
・車体ラッピング	1,722千円
・ドローン購入	349千円
【特定財源】	

活動指標

指標名	世界遺産PR動画制作本数	単位	本
指標の説明	ドローンを使い上空から古墳を撮影。古墳ごとや学校別にPR動画を制作する（H29～）		
指標データ	28年度実績	29年度実績	30年度目標（見込）
	0	73	75

成果指標

指標名	世界遺産PR動画閲覧回数	単位	回
指標の説明	羽曳野市公式YOUTUBEチャンネルにアップした動画の閲覧回数（H29～）		
指標データ	28年度実績	29年度実績	30年度目標（見込）
	0	5,072	7,000

参考数値

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

☒ 拡充・重点化	☐ 現状維持	☐ 改善して継続	☐ 縮小・統合	☐ 完了	☐ 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容					
藤井寺市、羽曳野市内で活動する団体が発起人となり、世界文化遺産登録に向けた地元の機運醸成を図るため、設立された「もずふる応援隊」の活動などを通して、地元の機運醸成は図られつつある。 ただし、平成31年の世界文化遺産登録に向け、更なる地元の機運醸成は図られる必要があると考え、拡充・重点化すべきと考える。					

平成30年度羽曳野市事務事業評価シート(平成29年度実施事業)

				コード	631-04-02	
事務事業名		来訪者受け入れ環境整備事業		事務の種類		自治事務（任意のもの）
				連絡先		内線4402
担当部署名		市長公室 世界文化遺産推進室		予算科目	会計	1 一般会計
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち		款	2 総務費
	施策	3	歴史・文化		項	1 総務管理費
	施策の方向	1	歴史資産を活かしたまちづくり		目	5 企画費
対象（誰を・何を）		羽曳野市民・国内外からの来訪者				
目的（どうしたいか）		世界遺産登録を契機に増加する、国内外からの来訪者を効果的・効率的に受け入れる				
手段（事業内容）		・花畑の管理（除草・清掃など）を行い、花の見ごろなどの情報を発信する。 ・外国からの来訪者にも対応できるよう、市内施設においてWi-Fiを整備する。				

事業費

単位：千円	28年度決算	29年度決算	30年度当初予算	29年度決算主な内訳
事業費	9,760	5,429	19,975	【事業費】
人件費	9,597	6,665	7,558	Wi-Fi拠点構築業務委託料 3,620千円
総事業費	19,357	12,094	27,533	管理委託料 1,697千円
うち市負担分	19,357	9,607	18,392	【特定財源】
				Wi-Fi設置促進事業補助金 2,487千円

活動指標

指標名	OSAKA FREE WI-FI認証数	単位	本
指標の説明	峰塚公園管理棟内に設置したWi-Fiの認証数（H30.3～）		
指標データ	28年度実績	29年度実績	30年度目標(見込)
	0	769	10,000

成果指標

指標名	古墳動画視聴数（羽曳野市You Tubeチャンネル）	単位	回
指標の説明	応神天皇陵古墳外濠外堤 花畑前に設置した説明看板に貼付しているQRコードの動画視聴回数		
指標データ	28年度実績	29年度実績	30年度目標(見込)
	59	260	400

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きい。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

☒ 拡充・重点化	☐ 現状維持	☐ 改善して継続	☐ 縮小・統合	☐ 完了	☐ 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容					
百舌鳥・古市古墳群については、平成29年7月31日に国内候補に選定されたことを受け、平成31年の世界文化遺産登録をめざしている。 今後は、来訪者が増えることが予想され、古墳をはじめ、憩い、学びの場、見学できるスポットとして花畑の整備を継続して行う必要がある。また、Wi-Fi整備等についても、今後必要な場所については、検討の上設置をしていく必要がある。 さらに今後、観光バスの乗降場や駐輪場、誘導看板などの整備も必要となるため、拡充・重点化とする。					

平成30年度羽曳野市事務事業評価シート(平成29年度実施事業)

				コード	631-04-03	
事務事業名		古墳DEるるる開催事業		事務の種類		自治事務（任意のもの）
				連絡先		内線4402
担当部署名		市長公室 世界文化遺産推進室		予算科目	会計	1 一般会計
総合基本計画	施策目標		6 歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち		款	2 総務費
	施策		3 歴史・文化		項	1 総務管理費
	施策の方向		1 歴史資産を活かしたまちづくり		目	5 企画費
対象（誰を・何を）		市民ほか				
目的（どうしたいか）		地域住民、特に今まで古墳に興味を示してこれなかった方々に、古墳群の価値を知り、愛着をもっていただくきっかけづくりのため。				
手段（事業内容）		ホールでは、古代衣装などのファッションショー「もずふるコレクション」をはじめ、吉本芸人による世界遺産応援漫才や東儀秀樹氏による世界遺産のトークショー等を開催。その他会場では、古墳にまつわるグッズや食べ物の販売、埴輪づくりなどの古墳時代体験も開催され、約2700人の参加があった。				

事業費

単位：千円	28年度決算	29年度決算	30年度当初予算
事業費	0	3,823	809
人件費	0	5,184	6,046
総事業費	0	9,007	6,855
うち市負担分	0	9,007	6,855

29年度決算主な内訳
【事業費】 イベント開催委託料 2,957千円
【特定財源】

活動指標

指標名	講演会参加者数	単位	人数
指標の説明	講演会の参加者数		
指標データ	28年度実績	29年度実績	30年度目標(見込)
	0	560	0

参考数値

成果指標

指標名	イベント当日参加者数	単位	人数
指標の説明	イベント全体の参加者数		
指標データ	28年度実績	29年度実績	30年度目標(見込)
	0	2,700	500

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きい。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

☐ 拡充・重点化	☐ 現状維持	☒ 改善して継続	☐ 縮小・統合	☐ 完了	☐ 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容					
地域住民、特に今まで古墳に興味を示してこれなかった方々に、古墳群の価値を知り、愛着をもっていただくきっかけづくりのために開催した。今後は、地域において、更なる広がりを図るため、平成29年度とは趣向を変え、実施していきたいと考える。					